

## 株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主  
確定日 3月31日

中間配当金受領株主  
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告  
当社ウェブサイト <https://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

株主様へのご優待 保有株式数及び保有期間に応じて下記の基準で自社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

3月31日現在

ご所有株式数	株主優待内容
100株以上	1,500円相当
200株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は6月中旬～を予定しております。

9月30日現在 3年以上継続保有\*

ご所有株式数	株主優待内容
2,000株以上	3,000円相当

優待品のお届け時期は12月中旬～を予定しております。

\*株主名簿の基準日(3月末日及び9月末日)の株主名簿に2,000株以上の保有記録が同一株主番号で7回以上連続している場合。

### 【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座をお持ちの株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

# 第75期報告書

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



Asahimatsu Foods Co., Ltd.



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
FSC® C022915



この冊子は、FSC®認証紙と、  
環境に優しい植物油インキを  
使用して印刷しています。

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第75期報告書（2024年4月1日から2025年3月31日まで）をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

代表取締役社長 木下 博隆



当連結会計年度におけるわが国経済は、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善による個人消費の期待など緩やかな回復基調がみられた一方、円安によりエネルギー・原材料価格は高止まっており物流費、人件費の更なる上昇なども相まった物価上昇により消費者の節約志向は今まで以上に高まっております。また、長期化するウクライナや中東での紛争に加え、中国経済の先行き懸念、米国の政策動向といった海外景気の下振れリスクや為替変動の影響などにより、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましても、輸入原材料等の調達コストの増大や物流費、人件費などの上昇の影響から、価格改定へ舵を切る企業が相次ぎ、消費者の節約意識も高まっております。また、食品に対する安全・安心への要求は依然として強く、高い品質・衛生管理体制の維持・向上が求められており、そのためのコストも継続して増大しております。

このような状況のなか、当社グループでも製造原価の上昇は避けて通ることはできず、収益面への影響は深刻な状況が続いており、企業努力では吸収しきれないコスト増への対応のため価格改定を余儀なくされております。品質面では、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC22000のバージョンアップなど、一層の向上を図っております。また、合理化、省エネルギー、脱炭素、品質向上のため継続的かつ積極的に設備投資を行うとともに、SDGsに沿った取り組みを引き続き推進しております。本年度におきましても、主力の天竜工場や高森工場において太陽光発電設備の増設投資を実施いたしました。

当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、過年度より数回にわたり実施した価格改定の影響もあり、販売数量の減少がみられ、売上高は80億1千7百万円（前年同期比1.0%減）となりました。利益面では、原材料やエネルギー価格など、製造コスト上昇の影響はあるものの、引き続き合理化や諸経費の削減などを行ってまいりました結果、営業利益は2億2千5百万円（同10.0%増）、経常利益は3億7百万円（同6.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億3千8百万円（同2.6%増）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

### 【凍豆腐】

凍豆腐では、市場の拡大・活性化を図るべく業界団体と協調し、凍豆腐に特に多く含まれるレジスタントプロテインの効果・効能を訴求するPR活動などを行ってまいりました。海外への進出についてはオランダフードバレーに参画し欧米市場への展開を進めており、この取り組みが評価され、農林水産省近畿農政局第2回『関西食の「わ」プログラム』に認定されました。また、帯広市川西農業協同組合との業務提携により北海道十勝産大豆を100%使用した凍豆腐の開発・発売を行っております。さらに、当社のブランドである「新あさひ豆腐」は公益社団法人学校給食物資開発流通研究協会から食育に関して非常に高い評価を得ており、令和7年度新規推奨品に選定されました。さらには大阪府泉大津市と食育についての包括協定を締結し凍豆腐の活性化に努めてまいりました。しかしながら、過年度からの価格改定などの影響から販売数量が減少し、売上高は34億9千2百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

### 【加工食品（即席みそ汁等）】

加工食品では、継続した単品収益管理の徹底により収益力の改善を図るとともに商品の改廃のスピードアップを図っております。オートミール商品は減少したもののカップスープ商品などが好調に推移し、継続してきた単品収益管理の効果や価格改定の浸透もあらわれており、売上高は24億9百万円（同1.5%増）と増加いたしました。

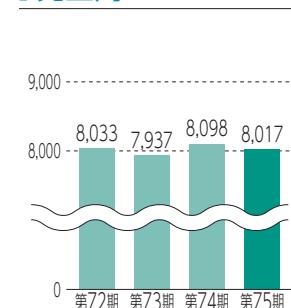
### 【その他食料品】

その他食料品では、えん下困難者用食品を扱う医療用食材は豊富なメニューを調理済み・形態調整済み食品として取り揃えており、病院・介護施設での厨房業務の省力化や標準化、人手不足の解消などに寄与しており順調に推移いたしました。また、菓子加工品(フリーズドライ納豆)は同業企業とのコラボレーションなど販路の開拓により売上に貢献し、売上高は21億1千5百万円（同2.3%増）と増加いたしました。

## 業績の推移（連結）

### 売上高

(単位：百万円)



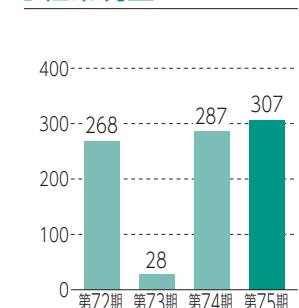
### 営業利益

(単位：百万円)



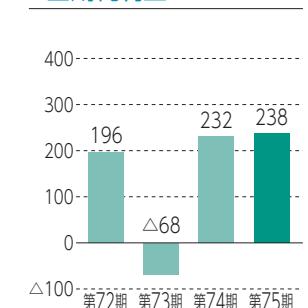
### 経常利益

(単位：百万円)



### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



トピックス

## 2025年大阪・関西万博の運営参加サプライヤーに！ 「カップタイプの高野豆腐」協賛

当社は2025年4月13日（日）より開催されている日本国際博覧会（大阪・関西万博）の運営参加（災害対策備品）サプライヤーとして「カップタイプの高野豆腐」商品2種類の協賛を行いました。新たな技術で実現した高野豆腐は、非常時でもお湯を注ぐだけで食べられ、栄養バランスを整えてくれます。弊社は大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の主旨に賛同し、運営をサポートいたします。



▶災害対策備品として

非常時であっても、炭水化物や脂質に偏り過ぎない「栄養バランスのよい食事」への配慮が必要とされています。高野豆腐は成分の約半分以上が植物性のたんぱく質。カルシウム・鉄分も豊富で、一つの食材で様々な栄養素を補えるスーパーフードです。カップタイプなら、調理条件が限られる環境下でも食べることができます。

▶「カップ小さな新あさひ豆腐」の特徴

- ・熱湯を注いで4分、お鍋などの調理器具も不要。1食で植物性たんぱく質5.7g（計算値）
- ・原料大豆は、国際規格であるグローバルGAP認証取得農場で契約栽培されている高オレイン酸大豆を使用し、EU規則に準ずるGMO管理（意図せざるGMO混入率0.9%未満）を実現
- ・高オレイン酸大豆の抗酸化作用により、賞味期限が従来製品の6か月から8か月に延長
- ・製造工場は国際的な品質基準であるFSSC22000を取得済



カップ小さな新あさひ豆腐  
液体調味料付



カップ小さな新あさひ豆腐  
減塩 液体調味料付

## 子ども達に届けたい！95%減塩の高野豆腐 誕生ストーリーが厚生労働省「減塩普及啓発資料」に掲載

当社では、特許製法[特許第6556438号]により製造・販売を行っている減塩の高野豆腐「新あさひ豆腐」が、厚生労働省・食環境戦略イニシアチブの減塩普及啓発資料に掲載され、2025年3月31日に公開となりました。おいしさそのままに減塩ができる高野豆腐をより多くの子ども達に届け、食習慣の改善、食塩摂取量の減少に貢献して参ります。



厚生労働省 子ども向け減塩普及啓発資料  
「別冊：知っていますか？食塩のとりすぎ問題～」

## 減塩のために、高野豆腐のつくり方を変えて、特許取得！

2014年、当時約40年振りに製法を見直し、従来品比95%減塩の高野豆腐を販売開始しました。当啓発資料はお子様にも読みやすい内容となっており、商品の誕生ストーリーや企業の取り組みについてまとめられています。「新あさひ豆腐」は、学校給食の分野でも栄養価の高さ、使いやすさの面から推奨品となっています。植物性たんぱく質、鉄分、カルシウムがたっぷりなだけでなく、食生活に取り入れていただくことで、様々な場合で課題となる食塩摂取量の減少にも貢献します。

▶ 連結財務諸表等

• 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2024年3月31日現在	2025年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,826,211	5,026,849
固定資産	5,113,461	5,207,560
有形固定資産	4,086,507	4,170,658
無形固定資産	162,293	149,407
投資その他の資産	864,660	887,494
資産合計	9,939,673	10,234,410
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,374,857	1,311,506
固定負債	592,057	657,108
負債合計	1,966,914	1,968,615
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,504,586	7,716,282
その他の包括利益累計額	402,731	475,145
非支配株主持分	65,440	74,366
純資産合計	7,972,758	8,265,795
負債・純資産合計	9,939,673	10,234,410

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

• 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	8,098,286	8,017,567
売上原価	5,843,723	5,730,474
売上総利益	2,254,563	2,287,092
販売費及び一般管理費	2,049,223	2,061,280
営業利益	205,339	225,812
営業外収益	91,975	93,881
営業外費用	9,549	12,162
経常利益	287,765	307,531
特別利益	4,017	5,126
特別損失	3,180	7,250
税金等調整前当期純利益	288,602	305,408
法人税、住民税及び事業税	65,529	53,787
法人税等調整額	△12,829	9,714
当期純利益	235,903	241,906
非支配株主に帰属する当期純利益	3,083	3,088
親会社株主に帰属する当期純利益	232,820	238,817

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

• 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2023年4月1日から 2024年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	729,858	478,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△538,769	△496,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,022	△33,784
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,818	32,928
現金及び現金同等物の増減額	148,885	△18,148
現金及び現金同等物の期首残高	831,887	980,772
現金及び現金同等物の期末残高	980,772	962,624

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 会社の概要 (2025年3月31日現在)

商号 旭松食品株式会社  
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.  
本店 長野県飯田市駄科1008番地  
本社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号  
設立 1950年12月19日  
資本金 1,617,844,105円  
子会社 旭松フレッシュシステム株式会社、  
青島旭松康大食品有限公司、  
青島旭松康大進出口有限公司  
従業員数 グループ人員：310名  
当社人員：227名  
主な事業内容 大豆加工製品の製造及び販売  
主要製品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、  
即席みそ汁、スープ類、オートミール、  
医療用食材等

▶ 株式の状況 (2025年3月31日現在)

- ①発行可能株式総数 5,680,000株
- ②発行済株式の総数 1,876,588株
- ③株主数 4,182名
- ④大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社八十二銀行	89,620株	4.84%
木下博隆	55,990株	3.02%
赤羽源一郎	55,834株	3.02%
国分西日本株式会社	54,885株	2.96%
藤徳物産株式会社	54,885株	2.96%
佐々木寛雄	54,000株	2.92%
株式会社大乾	44,885株	2.42%
株式会社日阪製作所	42,600株	2.30%
株式会社ホワイトフーズ	36,000株	1.94%
株式会社三菱UFJ銀行	30,000株	1.62%

※当社は自己株式27,977株を所有しておりますが、上記大株主から除いております。

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 取締役及び監査役 (2025年6月26日現在)

代表取締役社長 木下博隆  
常務取締役 蒲田充浩  
常務取締役 村澤久司  
常務取締役 足立恵  
常務取締役 平澤公夫  
常務取締役 牧野太郎  
常務取締役 濱村九二雄  
常務取締役 小濱賢二  
常務取締役 寺岡義裕  
常務取締役 伊坪眞  
常務取締役 近藤貴俊

▶ 地域別株主数分布状況

(2025年3月31日現在)

